

みずほマーケット・トピック(2024 年 11 月 29 日)

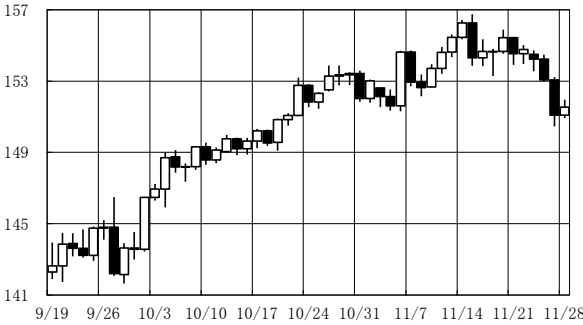
内容	1. 為替相場の動向	2. 来週の注目材料
※「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。本日発行の『中期為替相場見通し』をご参照下さい。		

1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

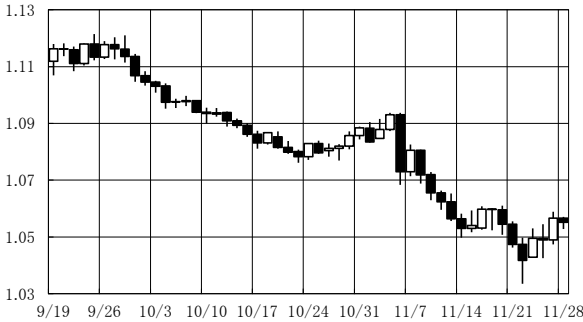
- 今週のドル/円は市場心理悪化や米金利低下を受け、まとまった幅で下落した。週初25日、154.12円でオープンしたドル/円はトランプ次期政権における財務長官人事報道を受け米インフレ抑制期待が高まり、米金利低下と共に一時153円台半ばまで軟化も、米金利反転に合わせ154円台を回復。海外時間は、米金利の動向に振られながら154円台前半を中心にレンジ推移した。26日、ドル/円はトランプ次期米大統領の関税強化案への警戒感からリスク回避の円買いが強まり、153円台後半にじり安。海外時間は、153円割れまで下押す場面もあったが、米金利低下が一服すると153円台前半では底堅く推移した。27日、ドル/円はリスク回避ムードが強まる中で日本株下落と共に152円台前半へじり安。海外時間は、堅調な米国債入札結果を受けた米金利低下や米国祝日を控えたポジション調整の動きを背景に、10月21日以来の安値となる150.45円まで水準を切り下げた。28日、ドル/円は市場心理の回復を受け、日本株上昇を横目に151円台半ばにじり高。海外時間は、152円手前まで続伸後、米国休場で薄商いの中で151円台半ばに値を下げた。本日のドル/円は、本邦物価統計の強めの結果を受け151円付近で取引されている。
- 今週のユーロ/ドルは週半ばに上昇した。週初25日、1.0480でオープンしたユーロ/ドルは米金利低下が下支えとなり一時1.05台に乗せるも、ドルの買い戻しもあって1.05を割り込んで引けた。26日、ユーロ/ドルはトランプ次期米大統領による追加関税案への警戒感から一時週安値となる1.0425まで下押し。その後は、米金利の上下に振られる展開の中、1.05を挟んだレンジ推移となった。27日、ユーロ/ドルはシュナーベルECB専務理事によるタカ派的な発言を受けた独金利上昇や米金利低下を好感し、一時週高値となる1.0587に上昇した。28日、ユーロ/ドルは米国休場で薄商いの中で、1.05台半ばを中心とした狭いレンジ内でのみ合い推移に終始した。本日のユーロ/ドルは、引き続き1.05台半ばで取引されている。

		前週末	今 週				
		11/22(Fri)	11/25(Mon)	11/26(Tue)	11/27(Wed)	11/28(Thu)	
ドル/円	東京9:00	154.16	154.12	154.33	152.93	151.33	
	High	155.02	154.73	154.48	153.22	151.95	
	Low	153.97	153.55	152.99	150.45	150.94	
	NY 17:00	154.80	154.18	153.10	151.13	151.54	
ユーロ/ドル	東京9:00	1.0472	1.0480	1.0444	1.0493	1.0560	
	High	1.0498	1.0530	1.0544	1.0587	1.0568	
	Low	1.0332	1.0429	1.0425	1.0475	1.0528	
	NY 17:00	1.0425	1.0498	1.0490	1.0566	1.0555	
ユーロ/円	東京9:00	161.40	161.50	161.16	160.38	160.00	
	High	162.45	162.09	162.00	160.65	160.30	
	Low	159.97	161.00	160.31	159.13	159.51	
	NY 17:00	161.28	161.82	160.63	159.74	159.97	
日経平均株価		38,283.85	38,780.14	38,442.00	38,134.97	38,349.06	
TOPIX		2,696.53	2,715.60	2,689.55	2,665.34	2,687.28	
NYダウ工業株30種平均		44,296.51	44,736.57	44,860.31	44,722.06	-	
NASDAQ		19,003.65	19,054.84	19,174.30	19,060.48	-	
日本10年債		1.08%	1.07%	1.06%	1.07%	1.05%	
米国10年債		4.41%	4.27%	4.29%	4.26%	-	
原油価格(WTI)		71.24	68.94	68.77	68.72	-	
金(NY)		2,712.20	2,618.50	2,621.30	2,664.80	-	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、12月6日(金)に11月雇用統計が公表予定となっている。前回10月分の結果は、非農業部門雇用者数が+1.2万人(前月比、以下同様)と、9月(修正後:+22.3万人)からは伸びが大きく減速し、市場予想(+10.0万人)も下回った。ただし、ストライキとハリケーンによるかく乱要因も大きく、そもそも事業者調査の初回答率が今世紀最低になっているため、この弱めの数字は額面通り受け止められない。他方で失業率は4.1%となり、市場予想および9月と一致した。加えて、平均時給は+0.4%と市場予想および9月の+0.3%を上回った。サービス業での賃金が強かったのだが、これは低賃金の労働者が一時的に統計から除外されたことを反映している可能性がある。賃金情勢は、見かけほど強くないのではないかと。本稿執筆時点では、12月FOMCに向けた市場の利下げ予測は固まってははいない。来週は、雇用統計の他にも複数の重要指標の公表を控えるため、市場期待の方向性を見極める時間帯が続く公算が大きい。なお、11月の結果に関しブルームバーグの事前予想では、非農業部門雇用者数を+20.0万人、失業率を3.9%、平均時給を+0.3%と見込んでいる。

	本 邦	海 外
11月29日(金)	10月失業率/有効求人倍率 11月東京消費者物価指数 10月小売売上高 10月鉱工業生産(速報) 10月住宅着工件数 11月消費者態度指数	ユーロ圏11月消費者物価指数(速報)
12月2日(月)	7～9月期設備投資 11月製造業PMI(確報)	- ユーロ圏11月製造業PMI(確報) - ユーロ圏10月失業率 - 米11月ISM製造業景気指数
3日(火)	—————	米10月JOLT求人件数
4日(水)	11月非製造業PMI(確報)	- ユーロ圏11月非製造業PMI(確報) - ユーロ圏10月生産者物価指数 - 米11月ADP雇用統計 - 米11月ISM非製造業景気指数 - 米ページブック公表
5日(木)	—————	- 独10月製造業受注 - ユーロ圏10月小売売上高 - 米10月貿易収支
6日(金)	10月毎月勤労統計 10月家計支出 10月景気動向指数(速報)	- 独10月鉱工業生産 - 独10月貿易収支 - ユーロ圏7～9月期GDP(確報) - 米11月雇用統計 - 米12月ミシガン大学消費者マインド(速報)

【当面の主要行事日程(2024年12月～)】

ECB 政策理事会(12月12日、1月30日、3月6日)

FOMC(12月17～18日、1月28～29日、3月18～19日)

日銀金融政策決定会合(12月18～19日、1月23～24日、3月18～19日)

金融市場部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2024年11月28日	英国ISAと新NISA、資本逃避を巡る似て非なる悩み
2024年11月27日	目標にすべきではない「実質賃金の上昇」
2024年11月25日	2年ぶりに注目されるユーロ/ドルのバリエーション
2024年11月22日	週末版(史上最大の要結資金も利下げ路線に影響なし～ユーロ圏7-9月期要結資金を受けて～)
2024年11月21日	混迷が極まるドイツの政治・経済情勢
2024年11月19日	ECB政策理事会議事要旨を受けて～12月利下げの読み筋～
2024年11月18日	日銀にとって「渡りに船」となる好調な個人消費
2024年11月15日	週末版
2024年11月14日	「家計の円売り」は腰折れたのか？
2024年11月13日	内外物価格差で感じること～欧州を訪れて～
2024年11月12日	トランプ2.0で「仮面の黒字国」が主張すべきこと
2024年11月11日	弱まる「実需の円売り」vs. 強まる「投機の円売り」
2024年11月8日	週末版(ナローパスに嵌まるFRB～「トランプ2.0はインフレ2.0」～)
2024年11月1日	週末版
2024年10月28日	総選挙を終えて～「デフレ脱却」はもう刺さらず～
2024年10月25日	週末版(政治不安とトリプル安～政局不安で「日本売り」なのか？～)
2024年10月23日	アコード修正という物価高対策～最もイージーな一手～
2024年10月22日	投機の円ロングはあと半分～問題はその後～
2024年10月21日	衆院選を受けた金融市場の想定～メインとリスク～
2024年10月18日	週末版(ECB政策理事会を終えて～対照性強まるユーロとドル～)
2024年10月17日	インフレ率「0%超」目標をどう受け止めるか？
2024年10月16日	スルーされた台湾有事～やはりなかった「リスクオフの円買い」～
2024年10月15日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年9月分)
	不透明過ぎる11月FOMC～1年後が気がかり～
2024年10月11日	週末版
2024年10月10日	世論が望むのは「デフレ脱却」ではなく「インフレ脱却」
2024年10月9日	失速が目立ってきたユーロ圏の経済・金融情勢
2024年10月8日	円相場の基礎的需給環境の現状と展望
2024年10月7日	円の基本シナリオに変更の必要は？～雇用統計を受けて～
2024年10月4日	週末版
2024年10月3日	日銀短観(9月調査)と日銀の「次の一手」
2024年10月2日	外貨準備構成通貨の近況について(2024年6月末時点)
2024年10月1日	「石破カラー」は当面お預け～「3年でデフレ脱却」の不安～
2024年9月30日	石破政権が市場にもたらすのは希望か、失望か
2024年9月27日	週末版(145円到達と日銀の「次の一手」～それでも「時間的な余裕はある」～)
2024年9月25日	家計資産の外貨比率は過去最高～避けたい日本版トラスショック～
2024年9月24日	改めて考える日銀10月利上げの難易度
2024年9月20日	週末版
2024年9月19日	FOMCを終えて～思い出される糊代論と今後～
2024年9月18日	自民党総裁選～各候補の立ち位置と変わらぬ前提～
2024年9月17日	円高の背景にある需給改善～金利差に限らず～
2024年9月13日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年8月分)
	週末版(ECB政策理事会を終えて～予定通りも25年以降の不透明感強く～)
2024年9月11日	ECB政策理事会プレビュー～問題は2025年以降～
2024年9月10日	衰えなかった家計部門の投資意欲～資産選別の兆候も～
2024年9月9日	デジタル赤字にまつわる誤解～米国独り勝ちというバイアス～
2024年9月6日	週末版
2024年9月5日	ドイツ産業空洞化とユーロ相場について
2024年9月4日	いよいよ注目され始めたドイツの産業空洞化
2024年9月3日	大混乱から1か月～市場は安定を取り戻したか？～
2024年8月30日	週末版
2024年8月29日	日銀の自然利子率推計について～「中立金利1%」説～
2024年8月27日	ドル売りの持続性は？～買われるユーロ、英ポンド、円～
2024年8月26日	パウエル講演を受けて～気になる労働市場への評価～
2024年8月23日	週末版(ECB政策理事会議事要旨を受けて～ユーロ相場の先行きについて～)
2024年8月21日	円ロングの積み上げが続くリスクはあるのか
2024年8月20日	企業買収を通じた対内直接投資の現状について
2024年8月19日	財PPP vs. サービスPPP～正しいのは円安か、円高か～
2024年8月16日	週末版(欧州経済の現状について～人手不足から需要不足へ～)
2024年8月15日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年7月分)
	ポスト岸田の考え方～金融政策の大勢に影響なし～
2024年8月14日	24年上半期の需給環境について～ほぼ均衡～
2024年8月13日	投機が去った円相場～注目は「家計の円売り」～
2024年8月9日	週末版(「円安バブル」報道について②～2005-07年との比較分析～)
2024年8月8日	「円安バブル」報道について①～05-07年との比較分析～
2024年8月2日	週末版(「日銀は変わった」はいつまで続くか～「やっぱり変わっていないかった」の怖さ～)
2024年8月1日	日銀会合を受けて～ドル/円相場の考え方～
2024年7月25日	週末版
2024年7月24日	インバウンド、「量」から「質」の意味するもの
2024年7月23日	バイデン撤退も市場動かず～円ショートは依然膨大～
2024年7月19日	週末版(ECB政策理事会を終えて～「賃金は必ず下がる」という自信～)
2024年7月18日	日銀会合プレビュー～円高だからこそ利上げ～
2024年7月17日	進むインフレ税による財政再建～資金循環統計～
2024年7月16日	復活しつつある「インフレの輸入」～利上げへの追い風～
2024年7月12日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年6月分)
	週末版(金利差に騒がない大事さ～問題は投機が去った後～)
2024年7月11日	株価、「真正正銘のバブル超え」の読み方
2024年7月10日	最近の円相場の需給環境について
2024年7月8日	米大統領選挙、現時点の解釈～為替市場の視点～
2024年7月4日	円安功罪論について～総論と各論を分けるべし～
2024年7月3日	短観(6月調査)が意味するもの～利上げは可能か～
2024年7月2日	フランス政局の行方と金融市場への影響
2024年7月1日	24年上半期を終えて～円は真正正銘の最弱通貨～
2024年6月28日	週末版
2024年6月27日	家計金融資産の現状～外貨比率は最高値更新へ～
2024年6月25日	「隠れ円安」への正しい理解～実効円安を見る努力を～
2024年6月24日	為替政策報告書～日本のリスト入りは形式上の不備～
2024年6月21日	週末版(欧州委員会による財政是正措置勧告～フランス極右政党 vs. 欧州委員会～)
2024年6月19日	本邦5月貿易収支を受けて～思ったよりも減らない赤字～
2024年6月18日	久しぶりの欧州政治騒動～27年まで波乱無しが基本に～
2024年6月17日	日銀金融政策決定会合を終えて～上がる期待値～
2024年6月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年5月分)